

令和3年4月20日

総務部人事課人事係
担当：丹 所
内線：2153
直通：643-3038

副知事及び教育長の選任について（令和3年4月臨時議会提案）

1 副知事候補者

- (1) 氏名 江口 勝(えぐち まさる) 再任
年齢 66歳
現職 前副知事
- (2) 氏名 生嶋 亮介(しょうじま りょうすけ) 新任
年齢 66歳
現職 株式会社九電工 社長室 部長（元福岡県警察本部総務部長）

2 教育長候補者

- 氏名 吉田 法稔(よしだ のりとし) 新任
年齢 61歳
現職 九州歴史資料館長

※ 年齢は、議案提出日（令和3年4月27日）現在

1 副知事候補者の氏名

えぐち まさる
氏名 江口 勝



2 選任理由

副知事は、知事を補佐し、知事の命を受け政策及び企画をつかさどり、職員の事務を監督し、知事に事故があるとき又は知事が欠けたときには、知事の職務を代理する役割を担っている。

候補者は、企業管理者をはじめ、企画・地域振興部長、環境部長等を歴任後、平成29年4月に副知事に就任した。組織の管理運営に優れ、豊富な行政経験と幅広い視野及び高い識見を有しており、知事を補佐する者としての的確にその役割を果たしている。

なお、候補者は副知事再任に当たり、副知事としての経験を活かし、県民全体の奉仕者として、常に公明、公正に職務を執行し、県民福祉の向上のために全力を尽くすとの考えである。

以上のことから、副知事として適任であり選任しようとするものである。

江^えぐ^ぐち^ち
口

勝^{まさる}

昭和三十年二月一日生

現住所 春日市

学 歴

昭和五十二年 三月 福岡教育大学教育学部卒業

職 歴

昭和五十二年 八月 福岡県採用

(略)

平成 十 年 四月 総務部地方課企画主幹

平成 十一年 四月 企画振興部高度情報政策課企画主幹

平成 十四年 四月 企画振興部高度情報政策課企画監

平成 十六年 四月 生活労働部労働局新雇用開発課長

平成 十八年 四月 商工部企業立地課長

平成二十年 四月 秘書室長

平成二十二年 四月 環境部長

平成二十五年 四月 企画・地域振興部長

平成二十七年 三月 福岡県退職

平成二十七年 五月 福岡県企業管理者

平成二十九年 四月 福岡県副知事

(令和三年四月まで)

1 副知事候補者の氏名

しょうじま りょうすけ
氏名 生嶋 亮介



2 選任理由

副知事は、知事を補佐し、知事の命を受け政策及び企画をつかさどり、職員の事務を監督し、知事に事故があるとき又は知事が欠けたときには、知事の職務を代理する役割を担っている。

候補者は、警察官として、福岡県警察本部総務部長をはじめ、同刑事部長、早良警察署長等を歴任し、長年に渡り、県民の安全で安心な暮らしを守るために尽力してきた経験を有している。防犯対策や飲酒運転の撲滅、防災減災等の取組みにより、県民生活の基盤となる安全を確保し、県民が心安らかに暮らせる福岡県づくりを推進していく上で、欠かせない人材である。また、組織の管理運営にも優れ、豊富な行政経験と幅広い視野及び高い識見を有している。

なお、候補者は副知事就任に当たり、これまでの経験を活かし、県民全体の奉仕者として、常に公明、公正に職務を執行し、県民福祉の向上のために全力を尽くすとの考えである。

以上のことから、副知事として適任であり選任しようとするものである。

しょうじま
生 嶋

りょうすけ
亮 介

昭和二十九年十一月二日生

現住所 福岡市南区

学 歴

昭和五十三年 三月 西南学院大学商学部卒業

職 歴

昭和五十三年 四月 福岡県警察官採用

(略)

平成 十二年 八月 警視昇任

博多警察署刑事管理官

平成 十四年 三月 福岡県警察本部総務部会計課管理官

平成 十六年 三月 福岡県警察本部総務部会計課次席

平成 十七年 八月 福岡県警察本部刑事部鑑識課長

平成 十八年 八月 筑後警察署長

平成二十年 三月 福岡県警察本部総務部会計課長

平成二十一年 九月 警視正昇任

福岡県警察本部警務課長

平成二十三年 三月 早良警察署長

平成二十四年 二月 福岡県警察本部刑事部長

平成二十五年 十月 警視長昇任

平成二十六年 三月 福岡県警察本部総務部長

平成二十七年 三月 福岡県警察官退職

平成二十七年 四月 野村證券株式会社参与 (令和二年三月まで)

令和 二年 四月 株式会社九電工社長室部長 (現在に至る)

1 教育委員会教育長候補者の氏名

よしだ のりとし
氏名 吉田 法稔



2 選任理由

教育委員会は、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関であり、教育長は、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから任命することとなっている。

候補者は、長きにわたり県教育委員会事務局職員として、学校教育をはじめ教育行政各分野の業務に携わり、本県の教育振興に貢献してきた。また、課長、部長、副教育長等の要職を歴任する中で、諸々の課題に対し積極的かつ真摯に取り組むとともに、部下職員の育成及び組織の活性化等に尽力しており、職員はもとより市町村教育委員会、学校等の関係者から多大な信頼を得ている。

なお、候補者は、教育長就任にあたり、これまでの経験を活かし、公平公正かつ有効な教育行政を推進するため全力を尽くすとの考えである。

以上のことから、教育長として適任であり選任しようとするものである。

吉 田

法 稔

昭和三十四年七月五日生

現住所 糟屋郡新宮町

学 歴

昭和五十七年 三月 九州大学教育学部卒業

職 歴

昭和五十七年 四月 福岡県採用

(略)

平成 十二年 四月 教育庁総務部総務課参事補佐 (兼) 人事文書
係長

平成 十三年 四月 教育庁教育振興部高校教育課課長補佐

平成 十五年 四月 教育庁教育企画部企画調整課課長補佐

平成 十六年 四月 教育庁教育企画部企画調整課企画主幹

平成 十七年 四月 教育庁教育企画部企画調整課企画監

平成 十九年 四月 教育庁総務部総務課企画広報監

平成二十年 四月 教育庁教育振興部体育スポーツ健康課長

平成二十一年 四月 教育庁教育振興部義務教育課長

平成二十三年 四月 教育庁教育振興部高校教育課長

平成二十四年 四月 教育庁総務部副理事 (兼) 総務課長

平成二十五年 四月 教育庁教育振興部長

平成二十六年 四月 教育庁教育企画部長

平成二十八年 四月 教育庁理事 (兼) 教育企画部長

平成二十九年 四月 教育庁教育次長

平成三十年 四月 教育庁副教育長

令和 二年 四月 九州歴史資料館長 (現在に至る)